



樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和4年12月22日

1・2年次PTA研修は進路がテーマ



先輩から体験談

【2年次】

先月17日(木)本校第2体育館にて、第3回PTA研修会を実施しました。まず、日本学生支援機構奨学金について、「借りるのは保護者ではなく生徒本人である」「今のうちにマネープランをきちんと立てておく

と」など具体的な数字を出しながら説明したところです。次に、進路指導部長の佐藤教諭から進路について、①進研模試などのデータから見える学習状況、②「学校推薦型選抜」「総合型選抜」の仕組み、③入試制度改革についての影響などを説明しました。

また、生徒に対しては今年16日に3年生による進路講話を実施し、見事合格を果たした先輩の体験を共有しました。続いて進路ガイダンスを実施し、学校選抜型推薦と総合型選抜について説明しました。年次団では今の時期を受験に向けたマイナス1学期と位置づけて、自らの目標に向けた取組を進めています。3者面談も進めています。

すが、何か不明な点や相談したいことなどありましたら、お気軽に担任まで申し出ただけだと思います。 2年次主任 伊藤智昭

【1年次】

12月8日(木)第2回1年次PTA研修会を実施しました。第1回はコロナ禍での感染防止対策でYouTubeでの配信となりましたので初めての対面実施となりました。当日は60名を超える保護者の方々に参加していただきました。

今研修会では進路指導部長から「大学入試の最前線と1年次生の現状について」説明しました。三条生の進路実績や進路選択について、カリキュラムが変わった1年次生の令和7年度からの入試の変更点など最新の情報を提供させていただきました。参加して下さった保護者の方々からは「進路の説明がわかりやすかった」「子供の進路について色々考えさせられた」と感想をいただきました。

令和7年度入試は「情報」の取り扱いや各大学の受験科目・内容・配点など未だ発表されていない部分も多い状況です、今後も研修会や年次からの連絡を通して保護者の皆様には情報共有をしていきたいと思っています。今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします。



音楽専門科目受講生と卒業生によるミニコンサート

将来音楽の道に進もうとしている音楽専門科目受講生と、現在音楽分野で活躍している卒業生とのミニコンサートが、16日に行われました。今回参加して下さった卒業生は東海林加奈さんと根本千香子さんのお二人。お二人は授業にも参加して、直接生徒にも指導していただきました。生徒は3年の西川詩乃さん、安齋萌花さん、2年の森本悠月さん、石井絢子さん、角田琴美さんの5名。スペシャルゲストとして国語科の武内伸行教諭もコントラバスで参加しました。ピアノソロから始まり、オーボエ、トランペット、声楽のソロが続き、最後に全員による演奏が披露されました。集まった生徒たちも表現豊かな歌声と音色に時が経つのを忘れるほどでした。卒業生のお二人は「とても素晴らしい機会となりました。今後とも後輩たちと一緒にできたら嬉しいです。今度はぜひホールでやれたらいいですね」とおっしゃっていました。ご協力ありがとうございました。

節電運動結果

今回も10月に続き2ヶ月連続で目標を大幅に上回る成果をあげることができました。引き続き節電に努めましょう。

	11月
昨年度	17,717kWh
目標(-10%)	15,945kWh
今年度	14,574kWh

3年次「自己表現」発表会

14日に選択授業「自己表現」の『帯広のまちづくり』に関する発表会を実施しました。この取組は帯広市役所都市政策課のご協力を得て地域課題を見つけ、その解決法を探ろうとしたもので、途中、米沢帯広市長も参加していただいたこともあったものです。今回、市役所から3名、日本旅行とかちプロモーションディレクターの大野さん、本校コーディネーターの長岡さんにも出席いただきました。発表は「広小路」「稲田地区」「緑ヶ丘公園周辺」の三つ。広小路は季節ごとのイベント実施とキッチンカー導入やワークスペースの設置などを提案。大野さんから「実際のイベントでの導入を考えたい」と言っていただきました。稲田地区は既存施設を利用したイベントの実施と欲しい施設として温泉カフェを提案、市役所の林さんから予算の積算の方法など細かな質問も出ました。緑ヶ丘公園の発表では、テーマパーク化作战と題して、400メートルベンチの色塗りをイベントとして実施する案や、少年院跡地に水族館設置と住宅地への利用や、新交通システムとしてロープウェイを提案しました。長岡さんは毎年実施するお母さん方へのアンケートでは「水族館がほしい」と必ずあがるとしたうえで、ベンチの案はとてもいいとコメントしてくださいました。最後に市役所の原田さんから「ぜひいつか帯広に戻って一緒にまちづくりに参加して欲しい」と講評をいただき終了となりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



第27回 3-3担任・応援団顧問 上田あや教諭

少しでも良い方向へと努力を続けてほしい

◇共通テスト目の生徒たちに

どうしても母親みたいな視線になってしまって、「コロナに気をつけなさいよ」とか「体調管理しっかりね」とか言ってしまいます。もちろんそれも大切なのですが、試験が終わる最後の最後まで粘り強く諦めない姿勢が大事だと思います。1日1点アップさせてやるという気構えをもって最後まで集中してほしいです。共通テストは教科間の休憩時間が長いので、その間に見ていた部分が試験に出たということは実際よくあるのです。諦めない姿勢が運をも味方につけるような気がしてなりません。

◇高校時代の後悔

私は高校2年の時、家から通える地元の大学という安易な進路選択をしました。するとおかしなもので、それまでと同じように勉強しているつもりなのですが、成績は伸びなくなってしまったのです。現状に満足せず、少しでも高みを目指していこうとする気持ちが大切なのだと、今思います。これでいいやと自分に限界を決めず、自分の人生の選択をしてほしいです。

◇人との出会いが人生を変える

地元の大学は教育大でしたが、教員養成課程には関心がなく、教員免許取得が必須ではない、いわゆる「0免」課程に進学しました。入学してみると周囲は教員志望の学生も多く、教授たちも教員養成を念頭に入れた指導が主でした。私は情報コースだったのですが、化学の先生から「数学のほうが向いている」と言われて、そのまま数学の先生のゼミに入ることを決めました。厳しい先生でゼミ

のメンバーは私以外に一人だけ。交代で課題に対する解答を発表するのですが、数式を黒板に書いていって「話ながら書け」とか「もっとわかりやすく説明しろ」とかしよっちゅうダメ出しをされました。解答発表の際、「～と思います」と言うと、「数学の解答に思いますは事実ではないということか」とあやふやなことは許してくれないのです。でもこの先生との出会いから数学の面白さに気づき、さらに先生から教えることの基本を教わり、教員を目指すことにしました。時代はバブル崩壊後の就職超氷河期。簡単に教員にはなれませんでした。仲間たちと励まし合って、諦めることはしませんでした。人との出会いが人生を変えたと思っています。

◇少しでも高みを目指して、少しでも良い方向へ

教員になってからは、私は行事でも部活動でも何でもやってみようという取り組みできました。多種の部活動に縁があって弓道部で全国大会出場を果たしたり、女子サッカー部顧問をしたり、三条でも子どもが生まれるまでスケート部副顧問でした。新しいことにもひるまず、少しでも自分を高めるために、そして少しでも良い方向へと努力できる人になりたいと思いますし、生徒たちにもそんな大人になってほしいと思います。



インタビュー

キラリ

卒業生とのミニコンサートで演奏を披露

3年5組 安齋萌花さん 3年6組 西川詩乃さん



16日に実施したミニコンサートでそれぞれソロ演奏を披露した二人。トランペットの西川さんと声楽の安齋さん。二人ともめっちゃ緊張したそうで、安齋さんは「自分の歌を聴いたことのない人たちの前で歌うのは初めてだったので

景色を見ることができた1年でした。3年の時は全国大会出場を逃して悔しい思いもしましたが、それはそれで本当にいい経験ができたと思っています」。吹奏楽部だった西川さんは「中学の時、色んな高校の演奏会を見て、一番三条高校が楽しそうだったからここを選んだのですが、実際は厳しいことだらけでした（笑）。練習もそうですが、演奏会も何から何まで自分たちがやらなくてはならないのです。でもそのおかげで続けることが大事だと思うようになりましたし、困難を乗り越えることができた経験はとても貴重だと思っています。」と振り返ってくれました。

が、この緊張感の中で歌えたことで自分の殻を破れた気がします。今の自分ができる一番いい演奏だったと思います」と充実感を漂わせました。西川さんは「緊張するのはいつものことなので、そんな機会があることを『ありがたいこと』ととらえるようにしています」と言うのはさすがです。続けて「最後のアメージング・グレイスの演奏では、先輩方の歌い方や表現の仕方に自分たちも引っ張られて、全員でやりたい音楽が一致した感覚があって楽しかったです」とこちらも満足そうでした。

高校生活を振り返ってもらくと、二人とも「部活動が一番の思い出」と口を揃えます。合唱部の安齋さんは「2年のときに全国大会に2回出場できましたし、TV（24時間テレビ）にも出たりと見たことのない

後輩たちにメッセージをお願いしました。安齋さんは「三条は文武両道を掲げていますが、本当にそれができる人がたくさんいます。ですから周りの人たちと一緒にいるだけで自然と自分も何にでも頑張れる人になれるんじゃないかと思っています。私自身も良い出会いができて成長できたと思っています。三条で思いっきり楽しんで欲しいです」。西川さんは「3年間は本当に短いです。誰かにやらされてではなく、自分でやりたいことを見つけてそれに向かって頑張りたいです」と話してくれました。

二人とも音楽の道に進みたいということで、受験に向けて奮闘中。体調に気をつけて頑張ってください！

